

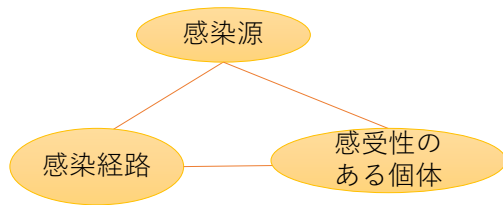
さいたま市介護支援専門員協会
新型コロナウイルス対策研修

国際医療福祉大学小田原保健医療学部
看護学科 教授 谷山 牧

本日の内容

1. 自己紹介「コロナウイルスとの出会い」
2. 「新型コロナ」とはどのようなものか？
3. 日常生活での留意点
4. ケアマネジャー業務での留意点

まずはじめに・・・感染の成立



COVID-19 について知っていること？

- そもそも、COVID-19って何の略？
- どんなウイルス？どんな病気？
- 感染経路？
- 症状や治療？
- 感染拡大を防ぐためにはどうするの？
- 自宅でケアを受ける人が気を付けることは？

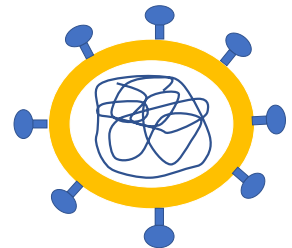
看護学科3年生
4年生の
COVID-19講義
の内容

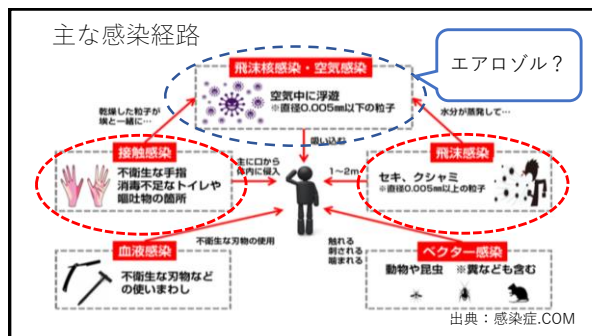
細菌とウイルスの違い

細菌	ウイルス
<ul style="list-style-type: none"> ・単細胞の生物 ・環境が整っていれば、自力で増殖する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自力では増殖できない ・細胞形態をもたない微小病原体 ・多くのウイルスは脂質2重膜をかぶっている

コロナウイルスとは？

- RNAウイルスの1種
- 脂質2重膜を持つ
- 生きた細胞には入りこみ自分を複製させる





毎日耳にするPCR検査

- PCR：Polymerase Chain Reaction (ポリメラーゼ連鎖反応)
- 「その時点でCovid-19ウイルスのかけらがあるか」を調べる検査
- PCRは遺伝子の断片を増やして、それがどうか判断
- PCR陽性 = COVID-19患者 ではない
- 新型コロナのPCR検査の場合、感度は50~70%
→ 感染していても、検査結果が「陰性」となる確率は5~3割

重症化しやすい人は？

併存疾患別の死亡数

- 心血管疾患92例 (10.5%)
- 糖尿病80例 (7.3%)
- 慢性呼吸器疾患32例 (6.3%)
- 高血圧161例 (6.0%)
- がん6例 (5.6%)

症状や治療？

- どのような病態を引き起こす？
重症化
→ ARDS：Acute Respiratory Distress Syndrome (急性呼吸窮迫症候群)
- どのような治療がなされる？
→ 呼吸管理 (人工呼吸器、ECMO)、抗ウイルス薬の投与

感染予防のために

三密を避ける！
の意義

飛沫感染 マスクの着用 (サージカルマスク・布マスク)
フェイスシールドの利用、他者との距離を保つ (1~2M)
マスクを外して大声で話さない、密を防ぐ、換気

接触感染 手洗い、高頻度接触表面の消毒
目・鼻・口を触らない

PPE (個人防護具) 普段の生活では、グローブなどは不要。

COVID-19 の安定性

- エアロゾル状態： 時間
- プラスチックやステンレス上： 時間
- ガラスや紙幣： 日間

COVID-19の消毒や除菌

手指

- ・流水+石鹸やハンドソープによる手洗い
- ・エタノール含有（《60》70～95％）の手指消毒薬

モノ

- ・熱水（80℃の熱水に10分間さらす）
- ・次亜塩素酸ナトリウム（0.05％ 金属はダメ）
- ・洗剤（界面活性剤）

空気

- ・こまめに換気（1時間に2回程度）
- ・エアコン使用時も換気
- ・人がいる場に消毒や除菌効果を謳うものを噴霧しない

（新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について（厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページより）

ケアマネジャー業務での留意点：高齢者宅訪問時

- ・自分、高齢者や家族がCOVID-19に感染している可能性がある
と常に考えて対応

飛沫感染がおりやすい場面

- ・人との距離が近い
- ・屋内でマスクを外す
- ・部屋が密閉されている
- ・大きな声で話す

接触感染がおりやすい場面

- ・ドアノブ、電気のスイッチ、椅子の背もたれ、ベッドの手すりなどを触る
- ・汚れた手で眼や鼻、口を触る

事業所での事務作業時の留意点

- ・自分、スタッフ、来所者がCOVID-19に感染している可能性がある
と常に考えて対応

飛沫感染がおりやすい場面

- ・人との距離が近い
- ・屋内でマスクを外す
- ・部屋が密閉されている
- ・大きな声で話す

接触感染がおりやすい場面

- ・ドアノブ、電気のスイッチ、椅子の背もたれ、PC、電話などを触る
- ・汚れた手で眼や鼻、口を触る

事業所での事務作業時の留意点

- ・自分、スタッフ、来所者がCOVID-19に感染している可能性がある
と常に考えて対応

飛沫感染がおりやすい場面

- ・人との距離が近い
- ・屋内でマスクを外す
- ・部屋が密閉されている

接触感染がおりやすい場面

- ・ドアノブ、電気のスイッチ、椅子の背もたれ、PC、電話などを触る
- ・汚れた手で眼や鼻、口を触る

いつでも基本にもどって・・・

感染： 感染源＋感染経路＋感受性のある個体 で成立

- ・感染源： 新型コロナの特徴を思い出す
- ・感染経路： 飛沫感染、接触感染が生じやすい場面を意識する
そこで感染しないような対応をする
- ・感受性のある個体： 自分の免疫能が下がらないように、
ストレスをためず、おいしいものを食べ、気分転換、楽しむ
調子が悪いときは無理をせず休む